

**◆7月21日降雹について**

7月21日午後5時30分頃、篠ノ井塩崎地区で降雹がありました。被害に遭われた皆様には、お見舞いを申し上げます。

対策については、対象地域に対策情報を配布させていただきましたので、確認をしてください。

**◆農作業に係る留意事項について**

「農作業の安全」に対する意識を常に持つよう心がけ、農作業中の事故を起さないよう、常に「安全」の意識を高め、怪我等ないよう作業を実施ください。

また、地域住民より苦情が寄せられています。同じ住民として、配慮しながら農作業をしましょう。

1. 高温時の作業、単独作業は極力避け、手足のしびれ・めまい・吐き気・頭痛・汗をかかない・体が熱い・体がだるい・まっすぐ歩けないなど。体調不良となったらすぐに作業を中止しましょう。

のどが渇かなくても20分おきに休憩し、コップ1～2杯以上を目安に水分補給(スポーツ飲料等も)しましょう。

2. 農機具利用(スピードスプレーヤ・動力付噴霧器・爆音機等)の際は、日中も含め特に極端に早い時間等の騒音に注意する。※爆音機は、行政より住宅地より200m以上離す。早朝夜間は使用しないと周知されています)

3. 安全運転を心がけ事故の無いようにする。また、コンテナの荷崩れがないようロープ等で固定するとともに、新聞紙やウレタン等が飛んでいかないよう注意する。

4. 子供たちの登下校、通勤等の時間等、薬剤散布に注意し、対策を実施する。

5. 近隣に住宅等ある場合は、住宅や洗濯物への飛散をしないよう、配慮しましょう。

6. 剪定枝の焼却は、消防書への届け出を必ず行い、大きな火種や煙に注意(凍霜害資材の燃焼)し、適正な処理をしましょう。

※薬剤防除や焼却は、必要に応じて近隣住民に事前にお知らせする等も実施しましょう。

7. 農業用ビニール・ネットが強風などで飛散しないように十分に注意して管理をお願いいたします。

また、電線などに引っ掛かった場合は速やかに関係先への連絡をお願い致します。

8. 農産物の盗難に気を付けましょう。また農作業中を狙った車上荒らしやアルミの脚立・農機具の盗難が管内でも発生しています。(放置せずしまう・カギをかける・持ち帰る)

**◆農薬ドリフト(飛散)防止対策の徹底について**

1. 農薬の使用にあたっては容器に表示されている記載事項を遵守し適正な取り扱いに心がけましょう。

2. 農薬散布を行う際は、風の弱い時に、風向きに気を付けて散布しましょう。

また、住民等へ周知するなど周辺環境への配慮にも心がけましょう。

3. ドリフト低減ノズルや防薬ネットなどの資材を活用しましょう。

また、ノズルの散布圧力や散布風量を適正にし、対策を徹底しましょう。

**◆スモモヒメシンクイ対策について**

シンクイムシ類は、果樹において、果実害等大きな問題となり、農家の収入に大きな影響を及ぼしてきました。特に、スモモヒメシンクイは、りんご・プルーン・スモモにおいて、甚大な被害となります。

発生源の一つとして、自家用等に園地のプルーン・スモモや庭先に植えられているハナモモ・ボケから、近隣の販売目的に栽培している果実へ飛来している事が、課題となっています。発生源にならないよう、管理作業をお願い致します。近所に見受けられる場合は、声掛けをしてください。

**1. 被害果の処理方法**

①落果した果実も含め“シンクイムシ類の被害果”はすべて集め、7日以上できるだけ長く水浸けし、果実内の幼虫を殺す。

②被害果を土中に埋めても浅いと羽化できるので、穴は深く掘って埋める。

浅く埋める場合は、基本的に水浸け後に埋める。

③肥料袋に被害果を詰めて口を縛り、炎天下に放置し、熱で殺した後に埋める。

④数量が多いとかさばるので、被害部分だけをくり抜いて処理しても良い。

## 2. その他対策

①薬剤防除等で管理をする。

②放任樹等シンクイムシ類の発生源となりそうな樹は伐採する。花桃・ボケなども含む。

## ◆鳥害対策について

1. バードガードなど声や音を再生する装置は、2週間ぐらいで慣れて効果が低下するので、他の対策と組み合わせる。

2. ロケット花火は、人が直接的に威嚇するため、慣れの起こる可能性は少ない。

なお、人のいる方向や可燃物のある方向に打ち上げた場合、事故や火災につながる危険性があるので、安全な使い方を徹底する。消火用水の確保や風向きを考慮する。

また、1日200個以上使用する場合は、都道府県知事の許可が必要。

3. かかしは人に似ているほど効果が高いが、慣れるので位置や形をこまめに変える。

※設置された器具は、鳥にとっては「怪しい」ため一時的に他へ移るが、時間がたてば戻ってくる。

鳥に「こけおどし」と思われないように、複合的な使用とこまめな移動が必要。

## ◆草生栽培の推進について

草生栽培のメリットは、土壌の団粒化を促進し・乾燥の激変を防ぎ・有機物が生産されることにより、地力維持が図られます。

1. 播種時期は、裸地で果樹が植わっていない場合は8月下旬～9月上中旬に行う。

すでに樹が植わっている場合は収穫作業等により播種ができないので4月～5月に実施する。

2. 播種前には除草剤(ラウンドアップ等)の散布を行い、その10日後(効果が現れる頃)に耕起し、更に草が多ければ再度耕起を行う。ギシギシ・タンポポは取り除く。

3. 播種量は、雑草の無い場合は3～5kgで良いが、雑草が残っている場合は、7～10kg(2倍)必要となる。なお基本的に通路のみの播種となる。

4. 播種前後の処理 播種前にレーキ等を使用して平らにならし播種する。播種後にレーキ等で覆土し鎮圧する。鎮圧が不完全だと発芽不良となる。鎮圧は重要な作業!

### 5. 種類と特徴

1) トールフェスクフォーンについて

①播種量：4～5g/m<sup>2</sup>⇒10a全面施用で4～5kg

②特徴：生育が早く草量が多い。日陰ややせ地でも生育する。

株立ち型なので短く刈り過ぎると露出面積が増えて雑草が生えやすい。

2) ケンタッキーブルーグラス について

①播種量：3～4g/m<sup>2</sup>⇒10a全面施用で3～4kg

②特徴：初期の生育が遅いので小まめな刈り込み管理が必要。ただし一旦定着すると生育は早く、踏圧やその他の損傷に強い。草丈が短く刈り取り回数が少ない(草量が少ない)が、長く伸ばすと寝てしまい刈りにくい。

草の種類	性質								
	草量	形態	刈取性	耐寒性	耐暑性	耐乾性	耐湿性	耐踏性	耐陰性
トールフェスクフォーン	多	株	○	◎	○	◎	○	○	◎
ケンタッキーブルーグラス	少	※1	△	◎	△	◎	○	◎	○

※1 ほふく性(地面を這う様に伸びる性質)

6. 取扱い先・・・希望者は、JAファーム又は各営農資材センターまでお申込みください。